

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 令和3年 12月 16日

事業所名 放課後等デイサービスけやきの森 保護者等数(児童数)16 回収数14 割合 87.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14					基準以上を確保している。余裕あり。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1		2		通常5~8名のスタッフ配置。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1		2		現在の利用者に関しては適切。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14					6か月以内に保護者へフィードバック、現状を聞き、伝え、計画の見直しを行っている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	2		1		人気のあるプログラムに集中しがち。まんべんなく行いたい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		4	6	必要性を感じない。	公園等で、地域の児童と遊ぶことがあります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	13	1			学校とも家とも違う様子を教えてください。	送迎時に状況をお伝えしています。気になることがある場合は電話等で、お話していききたい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14				貴重な支援をいただいています。	児童の環境整備や、児童の肯定的な働きかけを、より、伝えていきたい。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2	5	3	必要性を感じない。	必要の声が上がれば、考えたい。今はけやきの森を通して伝達している。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2		1		随時相談を受け付けています。解決できない場合は適切な相談窓口を紹介します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1		1		毎月初めに会報を作成している。またHp houkago-keyaki.comにて公開。
14 個人情報に十分注意しているか	11	3					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3		4		策定しているが周知できていない。今後、行っていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	4	1	5		スタッフのみで行っている。今後、児童がいる状態でも行っていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13		1		いつもニコニコで帰ってきます。一番楽しい時間のようです。	心のよりどころとなれるよう関わっていきたいです。
	18 事業所の支援に満足しているか	13	1			相談にのってくれる、心から親身になってくれる大切な存在です	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者
*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。